

インクルーシヴ社会の形成をめざして 知的障害のある人となない人が 共に楽しむスポーツ活動

スペシャルオリンピックス日本 ユニファイドプロジェクト

【スペシャルオリンピックス（SO/エスオー）】

- 知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供しているスポーツ組織です。SOでは、参加する知的障害者をアスリートと呼んでいます。
- SOは、スポーツ活動を通じ知的障害のある人たちの自立と社会参加につながる機会を提供していますが、障害のある人となない人が出会い、ふれあい、理解しあう場でもあります。
- 地域社会の人々や学生は、SO活動を通じ知的障害のある人を理解し、違いや個性を尊重、受容していきます。
- 知的障害のある無しに関わらず、SOを通じて多様な人々がふれあい、共にスポーツをすることで、全ての人々がその人らしく生き生きと暮らせる、インクルーシヴな社会になることをめざしています。

Project UNIFY® (ユニファイドプロジェクト)

スペシャルオリンピックスでは、知的障害の有無にかかわらず、若い世代の人たちが協働し、スポーツ、教育、健康、コミュニティ形成に関する多くのプログラムに携わる一貫した機会を提供することを目指し、ユニファイドプロジェクトに取り組んでいます。

※Unified：1つにする、統合するという意味

GOAL ゴール

障害のある人も無い人も
全ての人が一人生り自分らしく
生きることができる
インクルーシヴ社会の形成

プロジェクト 内容



Special Olympics
Project UNIFY®

ユニファイドスポーツ

ユースアクティベーション

学校連携プログラム

ユニファイドスポーツ®



知的障害のある人(SOアスリート)と知的障害のない人(パートナー)が、チームメイトとしてスポーツに取り組むプログラムです。チームメイトとしてスポーツに取り組むことにより、「違い」や「個性」をリアルに気づきます。「違い」や「個性」を受容し、仲間として尊重し、認めあい、互いを活かしかうことを体験します。

※ユニファイドスポーツには、以下の3つのモデルがあります。

【ユニファイドスポーツ・レクリエーション】

※誰もが参加できる交流を目的としたモデル

毎年7月に世界各国で行われる「ユニス・ケネディ・シュライバーデー」では、日本でも全国各地のSO地区組織で、障害のある無しに関わらず誰でも参加できる、ユニファイドスポーツ・レクリエーションのイベントを開催しています。

【ユニファイドスポーツ・プレーヤーデベロップメント】

※競技能力の異なる同年齢の知的障害のある人と無い人がチームを組んで練習や競技会に参加するモデル

競技能力の高いプレーヤーが、チームメイトである競技能力の低いプレーヤーの上達の補佐をするなど、メンター的な役割を担いながらチームを形成し、SOの国内競技会に参加することができます。

【ユニファイドスポーツ(競技)】

スポーツを通じた、アスリートの自立と社会参加のモデルです。

※同程度の競技能力、同年齢の知的障害のある人とない人がチームメイトとして継続的なトレーニングと競技会に参加するモデル



このモデルに参加するチームは、SOアジア太平洋大会、SO世界大会のような海外での大会にも進むことができます。

ユースアクティベーション

知的障害のある人と若い世代との協働活動を通じ
リーダーシップを育む

障がいのある人と無い人が、プロジェクトの企画立案から運営まで一緒に取り組むことで、互いの違いや個性を理解、尊重しながら意思決定を行うことを体験します。

<効果> 主体的な行動につながる / 物事の見方に新たな視点が加わる

【SO日本/東洋大学】

知的障害がある人と同世代の人が大学生活を体験、互いを知ることを目指し、アイスホッケー部の試合を観戦。見るスポーツを楽しみながら、スポーツには、同じ目標を持つことが出来る力があることを共有しました。



学校連携プログラム

総合的な学習や人権教育、体験学習の題材としてSOを活用

事例① 都立高校で・・・

- 奉仕活動体験授業の中で、SOやボランティア活動の講義を実施
ボランティア体験として、SOアスリートを応援するためのミサガ作りや
応援メッセージの募集を校内で呼びかけた（高校2年生約20名が参加）

事例② 都内区立中学校で・・・

- 同中学校には、学校支援本部内にSO支援委員会があり、スペシャルオリンピックス日本・東京と交流を続けている
体験授業の一環として、SOをテーマにした講演やSOファミリー（知的障害者のご家族）による講演を行っているほか、SOアスリートと生徒のスポーツ体験会を実施
（中学1年生 約100名対象） ※ 公開授業の為、近隣住人も参観

事例③ 全国のSO組織で・・・

- 26都道府県で実施（中学校7校・高校6校・大学34校）
SOの講義やSOアスリートとのスポーツ交流を通じた人権教育のほか、
地域で実施しているSOトレーニングプログラム（練習）や競技会・イベントでの
学生のボランティア参加を通じ体験学習の機会を提供

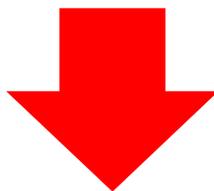
スペシャルオリンピックスを 学校に取り入れてみませんか？

- スペシャルオリンピックスは、幼稚園から大学まで、あらゆる教育機関で活用できる、ユニークで多様なプログラムがあります。
- 47都道府県にSO組織があり、地域の学校と連携しやすい全国的なネットワークを持っています。

スペシャルオリンピックスでは、インクルージョン教育を推進する実践的な活動として、ユニファイドスポーツやユースアクティベーション等を活用される学校を募集しています。

例えば、

- ・・・特別支援学級のある中学校で、一般学級の生徒と支援学級の生徒がユニファイドスポーツにチャレンジしてみる
- ・・・地域のSO組織と連携し、生徒や学生がSOアスリートと一緒に、SO活動のボランティアを体験する
- ・・・地域のSO組織が実施する「ユニス・ケネディ・シュライバーデー（毎年7月）」で行われるユニファイドスポーツイベントに参加する



Special Olympics
Unified Schools

スペシャルオリンピックスは、ユニファイドスポーツを軸とした、ユニファイドプロジェクトに取り組む学校を「ユニファイドスクール」と呼んでいます。

将来の社会活動を担う学生が、ユニファイドプロジェクトに取り組み、障害のある人と触れ合い、スポーツを通じてお互いの理解を深めること、またその結果として、社会的インクルージョンを促進させることを目的として立ち上げた制度です。

【お問い合わせ先】

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 業務推進部
東京都港区西新橋2-22-1 西新橋2丁目森ビル7階
Tel : 03-6809-2034 Fax : 03-3436-3666
E-mail : son_program@son.or.jp
業務時間 : 日・月・祝日除く 9:30-17:30